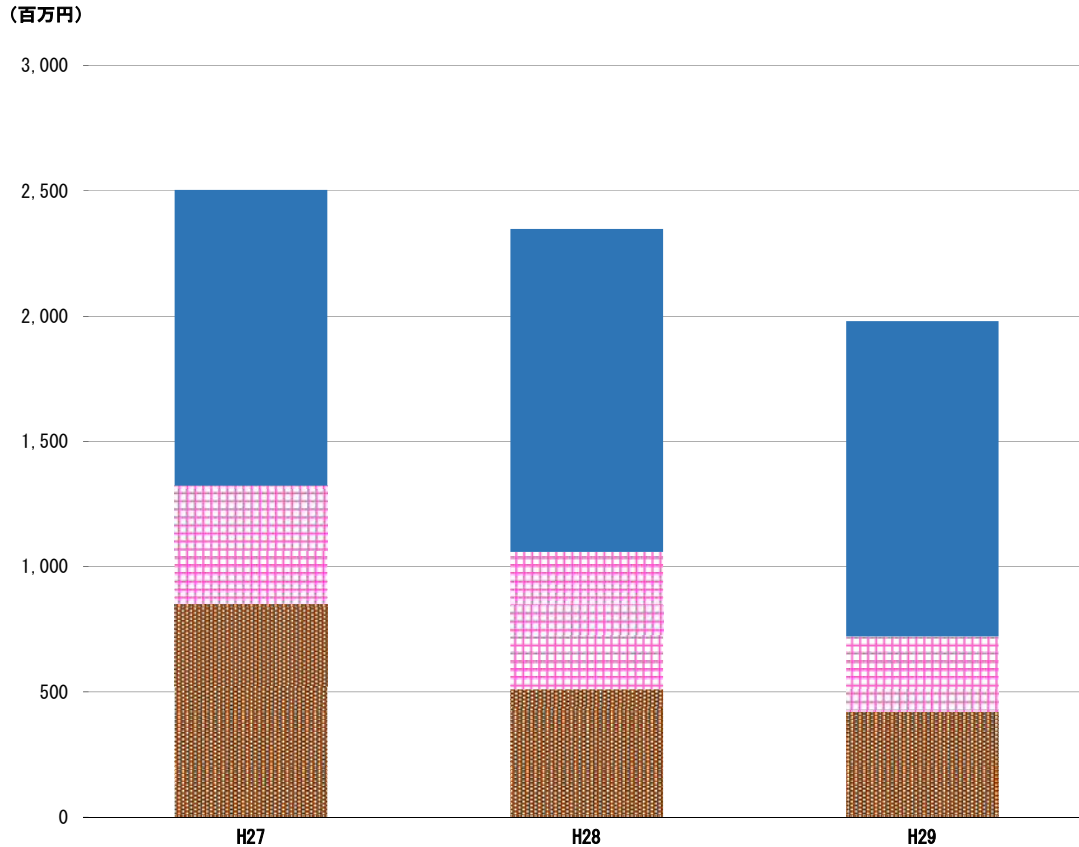


(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分	年度	H27	H28	H29
財政調整基金		851	511	422
減債基金		472	548	299
その他特定目的基金		1,180	1,289	1,258
地域振興基金		535	544	523
福祉基金		307	305	300
産業振興基金		142	157	150
奨学資金		111	140	127
生涯学習・スポーツ振興基金		54	83	82
基金残高合計		2,504	2,348	1,980

平成29年度

北海道芦別市

基金全体

(増減理由)
 財政調整基金については、平成27年度に新設し、北海道市町村備荒資金組合超過納付金を当該基金に積み立てたが、財源不足を補填するため、平成28年度に342百万円、平成29年度に90百万円を取り崩したところである。
 例年、必要に応じて特定目的基金を取り崩しているが、近年、本市の財政状況は厳しくなっており、平成28年度からは財政調整基金、平成29年度は減債基金の取り崩しも余儀なくされ、基金全体の現在高は減少している。

(今後の方針)
 今後においても基金の取り崩しを前提とした予算編成は避けられない状況であり、特定目的基金をより積極的に充当することも検討する必要がある。

財政調整基金

(増減理由)
 近年の著しい人口減少や少子高齢化、地域経済規模の縮小と財政硬直化に伴い、財源確保が極めて厳しい状況が続いており、財源不足を補填するため平成28年度より取り崩していることから、現在高の減少が続いている。

(今後の方針)
 今後も現在高の減少が続く、近い将来、基金が枯渇することが見込まれることから、北海道市町村備荒資金組合超過納付金を基金に積み立てることも検討する必要がある。

減債基金

(増減理由)
 平成28年度から平成29年度にかけて現在高が大幅減となっているが、これは、平成29年度において、起債の元金償還のため250百万円を取り崩したことによるものである。

(今後の方針)
 今後も引き続き、地方財政法及び芦別市基金条例に基づき、前年度繰越額の1/2以上の額を基金に積み立てる予定であるが、起債の元金償還のための取崩しについては平成30年度においても行う予定である。

その他特定目的基金

(基金の用途)
 ・地域振興基金 ……地域の振興の費用に充てるための資金
 ・公共施設等整備管理基金 ……公共施設等の維持補修及び除却に充てるための資金
 ・福祉基金 ……福祉の推進の費用に充てるための資金
 ・桜ヶ丘公園基金 ……桜ヶ丘公園の整備及び維持管理に要する経費に充てるための資金
 ・産業振興基金 ……産業の振興のための費用に充てるための資金
 ・学校教育施設等整備基金 ……学校教育施設等の整備に必要な費用に充てるための資金
 ・生涯学習・スポーツ振興基金 ……生涯学習及びスポーツの推進並びに青少年の健全育成に必要な費用に充てるための資金
 ・奨学基金 ……奨学金貸与資金に充てるための資金

(増減理由)
 ・地域振興基金 ……平成29年度、地域振興の費用に対して基金を約22百万円充当したことに伴う減少
 ・公共施設等整備管理基金 ……平成29年度、公共施設等の維持補修及び除却のために20百万円を積み立てたことに伴う増加
 ・奨学基金 ……平成29年度、奨学資金貸付金に対して基金を約17百万円充当したことに伴う減少

(今後の方針)
 ・地域振興基金 ……地域振興の費用に対して基金を充当する予定
 ・公共施設等整備管理基金 ……公共施設等の維持補修及び除却のために基金を充当する予定
 ・奨学基金 ……奨学資金貸付金に対して基金を充当する予定